

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	当院 ICU における集中治療医の介入の有無による経腸栄養の最適化を評価する後方視的観察研究
研究責任者	薬剤部 古橋草平
研究実施体制	聖隷浜松病院 薬剤部 古橋 草平
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025 年 3 月 31 日
対象者	2024 年 1 月から 2024 年 3 月までの間に聖隷浜松病院に入院し、C3 病棟に入室し、人工呼吸器管理を行った患者さん。
研究の意義・目的	ICU における適切な栄養管理は、患者さんの回復や合併症の予防に不可欠であり、各施設よりプロトコルを用いた経腸栄養療法の有用性について報告がなされています。 当院の ICU は semi closed ICU で、全入室患者に集中治療医が直接介入するわけではありません。入室患者さんの主科では集中治療管理が行えないケースで、集中治療医が介入を行っています。ICU の規模が大きいため、介入例は全体の 5 割程度です。 プロトコル策定の重要性は理解しつつも、現状では全患者さんを対象とした策定には至っていません。課題として、集中治療医が直接介入しない入室患者さんにおいて、栄養療法最適化が遅れるまたは行われていない可能性が挙げられます。 そこで今回、ICU 入室患者さんにおいて、集中治療医の介入の有無によって、栄養療法の最適化に差があるのかを調査し、当院においてプロトコルを用いた経腸栄養法が有用かどうか再考を行うことを目的とします。
研究の方法	【方法】対象患者さんについて、診療録から以下の項目の調査を行います。 患者背景（C3 病棟入室日、年齢、性別、身長、体重、集中治療医の関与、人工呼吸管理開始日、人工呼吸管理終了日、基礎疾患、入室理由）、栄養管理方法（経腸栄養開始日、経腸栄養、食事開始日、経静脈栄養開始日、栄養目標到達日）、退出情報（C3 病棟退室日、C3 病棟中の死亡、入院中の死亡）
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧ください。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 （氏名）古橋草平

	TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日
--	------------------------------------